

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成20年5月29日 (2008.5.29)

【公開番号】特開2004-7847 (P2004-7847A)

【公開日】平成16年1月8日 (2004.1.8)

【年通号数】公開・登録公報2004-001

【出願番号】特願2003-316522 (P2003-316522)

【国際特許分類】

H 0 3 H 9/17 (2006.01)

H 0 3 H 9/58 (2006.01)

H 0 1 L 41/09 (2006.01)

H 0 1 L 41/187 (2006.01)

【F I】

H 0 3 H 9/17 F

H 0 3 H 9/58 A

H 0 1 L 41/08 U

H 0 1 L 41/08 J

H 0 1 L 41/18 1 0 1 B

H 0 1 L 41/18 1 0 1 D

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月15日 (2008.4.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 5】

いずれの例においても、上部電極は、コプレーナ導波路構造の伝送線路の一部をなしている。上部電極は、関連回路に接続される。上部電極によって関連回路に接続される少なくとも 2 つの F B A R は、共通の下部電極を有している。また、いずれの例においても、2 つの直列 F B A R 1 0 の各上部電極 2 4 は、コプレーナ導波路構造の伝送線路における信号線路の一部をなしている。信号線路は、2 つの接地電極 2 7 の間に配置されている。2 つの直列 F B A R 1 0 の各上部電極 2 4 は、関連回路に接続される。また、上部電極 2 4 によって関連回路に接続される 2 つの直列 F B A R 1 0 は、共通の下部電極 2 5 を有している。